



この週刊誌は、大和郡内各町に於て、毎週日曜日に発行される。定価は、一年十元、半年五元、三ヶ月三元、一月一元五角である。大和郡内各町に於て、毎週日曜日に発行される。定価は、一年十元、半年五元、三ヶ月三元、一月一元五角である。

紙上講演

現下の農村は疲弊の一語につくされてゐる

新聞雑誌の購読を中止

農村の疲弊、農村の振興、は全国的な問題として呼ばれてゐることであるが、いふまでもなく、農村の振興は、農村の疲弊を救ふことに在り、農村の疲弊を救ふことは、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

時代の影響が露骨に表はれた

平の活動常設館

営業して損をする

平の活動常設館は、営業して損をする。時代の影響が露骨に表はれた。平の活動常設館は、営業して損をする。

空

平町に約四百軒

家賃がフイ

空。平町に約四百軒。家賃がフイ。空。平町に約四百軒。家賃がフイ。

望展相世

望展相世。望展相世。望展相世。

論壇

平宗教家に感謝

平宗教家に感謝。平宗教家に感謝。平宗教家に感謝。

深刻に吹きま

變遷推移を顧

暑中お伺ひ申上げ候

暑中お伺ひ申上げ候。暑中お伺ひ申上げ候。暑中お伺ひ申上げ候。

農村の疲弊、農村の振興、は全国的な問題として呼ばれてゐることであるが、いふまでもなく、農村の振興は、農村の疲弊を救ふことに在り、農村の疲弊を救ふことは、農村の振興の第一歩である。

農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。農村の疲弊は、農村の振興の第一歩である。

支店 山田勇太郎 電話四一四番

支店銀行の活動を望 休業銀行は整理促進

石城地方が殊更に不景気の
深刻さを物語るものは、休業
銀行の残骸を晒味である。而して銀行信
用は、整理たるや更に目鼻が付た休業に對し、或程度までの
かす只數字の更生案、預金切替の問題が起り得る
では話にならない。此處に、預金主と重役とが充分にそ
つては別預記帳の整理の如く、責任を果して後不足が
きは、今や必死の努力を續け、生ずるならば預金者も犠牲
てゐるは同情に値なしとせ、を忍ばねばなるまい。斯の如
ないであらう、一体石城の、を法的に考へれば不
人類は弱者いじめで一致、破産法によるよりも預金者
團結云ふ大衆の力、に對する道徳的の考
を利用することを考へ、慮を拂うべき適切な方法
ない利己一天張りに
は困るのである。人間
は感情の動物だから休業の
誠意なきを見付けられ居つ
ては一般銀行にもそ
の心理作用が有形無
形の經濟活動に影響
することを見逃す
わけにはゆかない。資
金難に泣いて居る、中商工
業者の多いのは休業銀行其
物が斯くしたもので、彼等
に在りて叫びざるを得ない
支店銀行の如き取引
に實質的援助を與へ
地方財界に多大の機
性的貢献をし、居る
預金の場合一萬圓を一箇年
は一萬圓半、或毎五分づつ

良銀行 其利用法

記者一日
七十七日
行平支店
に遊ぶ山
田支店長
小岩貸付
主任と會
話をし、預
金問題と其
の利用法が
誠實に運用
の妙を得れば一
圓が三圓の金
が一日自
由に使へるとは實際の話を
左の如き預金の勘定をすれ
ば直ぐ判かるのである。今假
りに銀行利用方として定期
預金に計算する、今減みに甲
性的貢献をし、居る
預金の場合一萬圓を一箇年
は一萬圓半、或毎五分づつ

預金証書作製

此項先方の交渉の如
何に依つては金額より五厘
から時によつて一分迄位に
高く預らなくては済まぬこ
ともある、然して内輪話にな
り、一萬圓一箇年とするよ
りも一萬圓を六箇月宛年二
度とした方が得策である。
何となれば五分五厘の利子
とすれば一萬圓では年に五
百五十圓の利息となる。單利
であるけれども然るに

六ヶ月の定期

元金を加へて一萬二千七
十五圓になる。之を更に六箇
月預ければ元利合計金一萬
五千五百七十七圓五錢となつ
て後の方が七圓五錢だけだ
け計算利子がつく譯になる。
其上何かの都合で之を引出
す場合、定期預金を途中で
特別當座程度に引下げられ
てしまふが前者の場合では
先の半期分だけは既に利子
が取つてあるのだから、余程
有利である。當座預金、特別
當座預金は年二度の福利計
算。郵便貯金は年一度三圓未
滿に計算する、今減みに甲
性的貢献をし、居る
預金の場合一萬圓を一箇年
は一萬圓半、或毎五分づつ

何の位の差異

が生ずるか云ふに
一年目 甲 一〇〇〇圓
三年目 乙 一〇〇〇圓
五年目 甲 一〇〇〇圓
十年目 乙 一〇〇〇圓
二十年目 甲 一〇〇〇圓
三十年目 乙 一〇〇〇圓
四十年目 甲 一〇〇〇圓
五十年目 乙 一〇〇〇圓
六十年目 甲 一〇〇〇圓
七十年目 乙 一〇〇〇圓
八十年目 甲 一〇〇〇圓
九十年目 乙 一〇〇〇圓
百十年目 甲 一〇〇〇圓

子を生んで行

くのである。次に日歩幾何と
いふ特別當座預金と年何歩
と計算する。預金とはどちら
が有利であるかと言へば、
年 利 日 歩
四分八厘 一錢三厘一毛
五分五厘 一錢五厘一毛
六分 一錢九厘四毛
七分 二錢三厘三毛
八分 二錢七厘三毛
九分 三錢一厘三毛
一分 三錢五厘三毛

青眼

青眼の組合員中貧
困児童の斯髪を無
料でしてやる。發
表したら組合から
こんな善良な事は
絶対に中止となつた
との話である。が一体全体此
の組合は組合員は社會奉仕
の組合であるか否か。是れは
安否を害すも甚だしきもので
ある。其筋では約腕の改
正をなさしめるか又は解散
を命ずべきものである。

動靜消息

浦氏榮轉 七十七平
支店の副支店長として敏
腕を振る地方財界に貢献
する處から、さうして氏
は其の手腕と人格とを本
店より認められ、今度宮城
縣岩出山支店長に榮轉し
其行盛なりし。
安川氏活動 石城民政
黨中の活動人物として大
いに氣を吐いてゐた氏は、
今回福島公論を創刊し、月
三回發行とし、政治に會社
問題に鋭筆を振ふこと、
なり既に新聞紙法に依る

笑話

細君縫衣のま、電話に出
てモシ、
「まあこんな恰好で御免
遊ばせ」
女房「それぢや、アナタ
今迄になつた善行ひを
一つ云つて御覧なさい」
亭主「まづ、オマへをオ
ールドミスで終らせなな
つたことだね」
奥様「夫が眼病で、たつ
た先刻も女中と妾とを見
違へたぢやないか」
訪問客「へい！お宅の女
中さんはそんなに醜いん
ですか」

本社及印刷所従業員一同の四倉海岸に一日の清遊慰安に多大の御援助下さる旨申出でられたる御同情の諸君へ感謝の表意

安價、輕便、實用的 冷藏庫、特價提供

特長

- 一、安價にして輕便且つ堅牢大衆向きであり眞に臺所の寶器であります。
- 二、絶縁材料として優秀なる山形アルフィンを使用して居るが八月中には特輯號を發行する由。
- 三、高倉天地堂 傑一貫から平三丁目の目抜き場の處に附設して店頭には常にお客の絶いたことの無い繁昌は商機に富む高倉精一氏の手腕と勉強振りによることならんも昨今盛人に買出しの蓄音器元價目提供も豫定一百臺は日ならず品切れとなるであらう。

小型 間口一尺二寸、奥行一尺、高さ九寸 定價 五圓五十錢

大型 間口一尺五寸、奥行一尺二寸、高一尺一寸 定價 七圓五十錢

釜屋商店器物部
平町三丁目 電話九・一三九番

蓄音器の大手

七月二十五日ヨリ 一月ケ間
八月二十五日マデ
蓄音器時代來る
海に山に一家團樂の源泉

百臺限り
元價提供

平素御引立御禮として此際特に元價を以て提供致します。夕涼御散策の折せひ弊店へ御立寄りの上現品を御覽下さい。
期間中と云へども壹百臺賣切の節は直ちに此の特賣を中止致します。

高級コックク蓄音器發賣元
ビクター蓄音器
コロムビア蓄音器
イーグル蓄音器
其他附屬品一切
平町三丁目 電話八六七番
天地堂

柳川 一井
御一 金四十錢
人前

柳川 なべ
同金二十五錢

御買の程願ひます
出前迅速 **石川 亭**
よろしく平田町 電話四三二

簡便なる
金融機關の活躍
○弊店の特色
貸出 勉強 強
保管 確實 實
秘密 嚴守 守
平田町 大工町
多田井質店
電話八六九番
多田井笑次郎

三井 慶物店
平田二丁目 電話一五六番
三井 文吉
署中御伺
理事 **田久 要吉**
石城郡平田町

豊間 濱屋 旅館
署中御伺
片岡 醫院
植田町電話一〇七番

時計 貴金屬 眼鏡 音器
修理は早く安く親切に
金光堂時計店
平田五丁目
電話七三六番

御土産に御進物に新味あり滋養豊富の
久保田のパン菓子御用命希上げます
平田十五丁目(二十三夜堂前)
久保田パンヤ
電話八〇四番

内科 小兒科 花柳病科
入院 隨意
藤沼 醫院
平田植田町 電話五〇七番

衛生相談 處方調劑 藥品一般 滋養藥品 体温計
時節病寒暖計並に農薬用殺虫消毒特種提供
平田五丁目角
山野邊藥局
藥劑師 山野邊東次郎

生命保險界の王
世界的大會社
加奈陀サン生命保險會社
本社 英領加奈陀モントリノル市
平田代理店 加藤 丈夫
湯本代理店 長岡 義守
契約高 五十億
資産 十一億
尤も特色あり尤も有利なる保險契約

花柳病科
平田六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

牛豚肉
卸小賣配達迅速
三二二 三三三
平田町 電話三三三番

平田町 電話五二三番
高久病院
醫學士 高久 羽久
新醫學士 赤竹 菊
藥劑士 佐竹 雄清
内科小兒科 外科花柳病科
耳鼻咽喉科 レントゲン科

高級新型の自動車
貸切は勉強、路線は好問
三井自動車部
電話八番 一五六番

清楚な サロン
明るい サロン
洋酒は サロン
高級食堂 サロン
電話三五二
食事は サロン
奉仕は サロン
僱等の サロン
サロンの公休日は毎月第三
火曜日に變更いたしました

藥。化粧品
衛生材料
洋酒。罐詰
染料。塗料
福島縣平田町
尚美堂藥店
電話二六八番

磐城刀劍保存會
我國三千年來大和魂の真髓武士道の精華である
刀劍は其影を消さんとする傾嚮あり邦家の
爲め散失に堪えざるため石城の愛刀家加藤丈
夫、酒井國三郎、長谷川豊吉、其他同好者相
謀り茲に磐城刀劍保存會といふ研究と保存を
目的とした團體を組織する事になつた密つて
御入會下さい。

平田町 字二丁目
▲入會申込所 長谷川椅子店方
八月三日 於住吉屋本店
磐城刀劍保存會組織準備會當日役員決定
刀劍持寄りの事
九月 中 平田住吉屋本店に於て
磐城刀劍大會を開催
當日は南都刀劍の大家
本阿彌光遜氏來平講演
發起人一同

平看護婦會
會長 清野 キヨ
平田字南町(電話三〇七番)
看護婦派出の需めに應じます

時代の尖端を走る料理店
一、銘酒 金三十錢
一、ビール 金五十錢
其他是に準ず
松ヶ岡線風滴たる料亭
公園の
電話二二六番

四ツ倉海水浴場
●簡易書食 ●新鮮魚料理 ●西洋料理
●冷凍飲料水 ●其他御注文に應ず
御來客様には自動車料を呈す
腕によりをかけて實費提供にて御
待ちして居ります
平田町
本店 **昌ホール**
電話四三九番

美術 迅速 至廉
小松崎洗張本店
平田二丁目川岸通り電話七七〇番